2026 年 11 月 5 日

農林中央金庫
農中信託銀行株式会社
ケネディクス株式会社
KDX ST パートナーズ株式会社
株式会社 SBI 証券
Progmat, Inc.

農林中央金庫グループのデジタル証券事業参入および
「Progmat（プログマ）」を活用した案件化に関する協業について



農林中央金庫（代表理事理事長：北林 太郎、以下「農林中金」）の 100%子会社である農中信託銀行株式会社（代表取締役社長：若林 大介、以下「農中信託銀行」）、ケネディクス株式会社（代表取締役社長 COO：寺本光、以下「KDX」）、KDX ST パートナーズ株式会社（代表取締役社長：中尾彰宏、以下「KST」）、株式会社 SBI 証券（代表取締役社長：髙村 正人、以下「SBI 証券」）、および Progmat, Inc.（代表取締役 Founder&CEO：齊藤 達哉、以下「Progmat 社」）は、デジタルアセット発行・管理基盤である「Progmat（プログマ）」を活用した案件化について協業しますので、お知らせします。

なお、本件は、農林中金グループとして初のデジタル証券（Security Token、以下「ST」）事業への参入となります。

１．協業の背景

農中信託銀行は、2025 年 4 月に Progmat 社に出資[*1]し、制度設計を含めたデジタルアセット発行市場の発展および新たなデジタルアセットの開拓に取り組むと同時に、従来、大型の機関投資家向けにしか提供できなかった多様な金融商品や農林水産業関連に由来する非金融資産のデジタルアセ

ット化等を通じて、中長期的には系統団体・組合員を含む投資家の皆さまへの新しい投資機会の提供を目指しています。

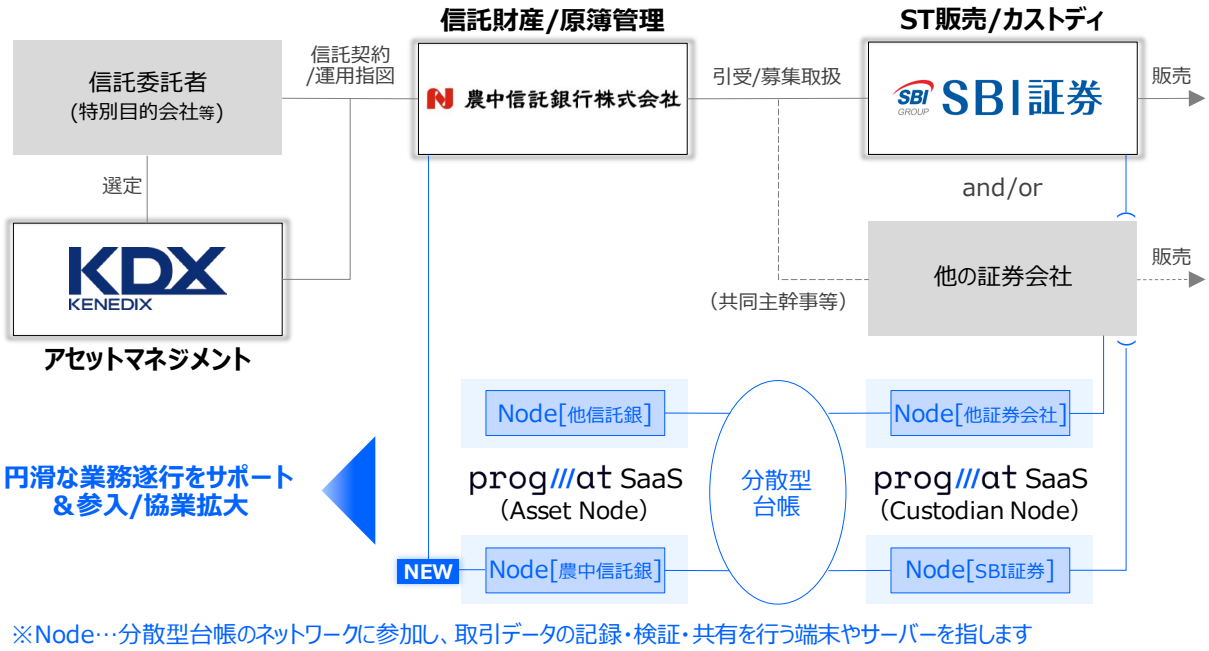
KDX および KST と Progmat 社は、2021 年 7 月に本邦初の公募型不動産 ST での協業[*2]に始まり、2025 年 4 月に農中信託銀行と共に Progmat 社に出資[*3]、2026 年 7 月にはパブリックブロックチェーンおよびステーブルコインを活用した新たなデジタル証券スキームを共同で発表[*4]する等、ST 市場のフロンティアを開拓すべく、協業を深化させてきました。

SBI 証券は、前述の本邦初の公募型不動産 ST での KDX および Progmat 社との協業に始まり、2023 年 9 月に SBI グループの SBI PTS ホールディングス株式会社が Progmat 社設立に関する株主間契約締結を発表[*5]、2025 年 11 月には同グループの株式会社 SBI 新生銀行と農林中金が業務提携を発表[*6]する等、様々なパートナーとの多面的なシナジー創出に取り組んでいます。

今般、農林中金グループとして ST 事業へ参入するにあたり、国内トップクラスの導入実績とネットワーク[*7]を有する Progmat を活用し、KDX、KST および SBI 証券と協業することで、農林中金グループとして初となる不動産 ST 案件を組成することを企図しています。

なお本件協業は幅広い市場参加者に開かれたものであり、各社は、引き続き多様なパートナー等との対話や協業をとおしてデジタルアセット関連事業に取り組んでまいります。

2．各社の役割



※Node…分散型台帳のネットワークに参加し、取引データの記録・検証・共有を行う端末やサーバーを指します

（1）KDX および KST

KDX は、本件のスポンサー兼アレンジャーとして、対象不動産の供給およびスキーム組成を担います。また、KST は、アセットマネージャーとして、ST 組成後の期中運用および投資家の皆さまへの情報開示等を担います。両社がこれまで公募型不動産 ST で培ってきた組成・運用ノウハウを本件に活かすことで、投資家の皆さまの利益の最大化を目指します。

（2）農中信託銀行

農中信託銀行は、不動産 ST の発行ビークルである受益証券発行信託の受託者として、これまで農林中金グループとして培ってきた流動化・証券化の知見・ノウハウも活用しながら、信託財産及び Progmat による受益権原簿の管理を厳格に実施することで、投資家の皆さまにデジタルアセットへの投資機会を提供するための役割を発揮いたします。

（3）SBI 証券

SBI 証券は、本件において ST の引受・販売を担う証券会社として、これまで培ってきた ST に関する知見・ノウハウや幅広い顧客基盤を活用し、投資家の皆さまへの円滑な商品提供に取り組みます。また、関係各社との連携を通じて、幅広い個人投資家の皆さまに、新たな投資機会を提供してまいります。

（4）Progmat

農中信託銀行および SBI 証券に「Progmat SaaS」を提供し、円滑な業務遂行をサポートします。「Progmat SaaS」は、広範な金融機関の皆さまが自社サーバー上にブロックチェーン(分散型台帳)のノード等を構築することなく容易にデジタルアセット関連事業（原簿管理業務・カストディ業務等）を開始することを可能とし、また、広範な証券会社/仲介者の皆さまが、投資家の秘密鍵管理等を第三者（カストディアン）に委託することなく自社で完結することも可能とするプロダクトです。

農中信託銀行は ST 案件受託ビジネスの新規参入者として、新たに ST ファンドに関する信託業務を開始することになり、且つ、SBI 証券以外の外部の証券会社とも連携する必要もありますが、今般の「Progmat SaaS」の導入により、既に確立された機能/フローに則った堅確な業務遂行が可能になります。

３．今後の展望

農林中金および農中信託銀行は、農林中金グループとして今回、初の不動産 ST 案件に携わることを契機に、ブロックチェーン技術を活用した、デジタルアセットを含む様々な金融ソリューションが持つ可能性、将来性に関する更なる研究、追求をグループ一体となって進めるとともに、その活動を通じて、農林水産業の発展や系統団体・組合員の資産形成等をはじめとしたステークホルダーに対する多様な経済的・社会的価値の提供を実現できるよう、より一層の取り組みを推進してまいります。

KDX および KST は、デジタル技術を活用した新たな投資機会である不動産 ST を、REIT 及び私募ファンドに次ぐ「第三の事業の柱」とすべく、2030 年までに市場全体で 2.5 兆円の不動産が ST 化されている未来を目指してまいります。

SBI 証券は、本協業を契機として、アセット・マネージャー、信託銀行およびプラットフォーム事業者をはじめとする関係各社との連携を一層深化させ、不動産をはじめとする多様な資産を対象とした ST 商品の取扱い拡充に取り組んでまいります。また、これまで個人投資家の皆さまにとって投資機会が限られていた資産へのアクセスを広げることで、多様な資産形成ニーズに応えるとともに、ST 市場のさらなる発展に貢献してまいります。

Progmat 社は、新たな取り組みへの技術提供と包括的なサポートを通じて、デジタルアセットのエコシステム拡大を牽引していきます。より多くの金融機関・事業者の皆さまがデジタルアセット関連事業に参入できる環境を整備するとともに、安全で利便性の高いインフラの普及に貢献してまいります。

以　上

*1 プレスリリース：https://www.nochutb.co.jp/2025/04/bf300f88414859be3fccf04d9d7c7dbe1ffabb0e.pdf

*2 プレスリリース：https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/210709_1.pdf

*3 プレスリリース：https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000158140.html

*4 プレスリリース：https://www.kdx-sto.com/news/press-release/20260731-01

*5 プレスリリース：https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/230911_1.pdf

*6 プレスリリース：https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2025/sbi.html

*7 ST 市場マーケットレポート（2026 年 10 月末時点）：https://speakerdeck.com/progmat/progmat-monthly-st-market-report-2026-oct

【本件に関するお問い合わせ先】
農林中央金庫 経営企画部　広報コミュニケーション班
（藏方・田島）　Tel：03-6362-7172

＜会社概要＞

(1)

会　社　名：農林中央金庫
代　表　者：代表理事理事長　北林 太郎
設　　立：1923 年 12 月 20 日
所　在　地：東京都千代田区大手町 1-2-1 Otemachi One タワー
U　R　L：https://www.nochubank.or.jp/

(2)

会　社　名：農中信託銀行株式会社
代　表　者：代表取締役社長　若林 大介
設　　立：1995 年 8 月 17 日
所　在　地：東京都千代田区神田錦町二丁目 2 番地 1
U　R　L：https://www.nochutb.co.jp/

(3)

会　社　名：ケネディクス株式会社
代　表　者：代表取締役社長 COO 寺本 光
設　　立：1995 年 4 月 17 日
所　在　地：東京都千代田区内幸町二丁目 1 番 6 号
U　R　L：https://www.kenedix.com/

(4)

会　社　名：KDX ST パートナーズ株式会社
代　表　者：代表取締役社長 中尾 彰宏
設　　立：2017 年 6 月 26 日
所　在　地：東京都千代田区内幸町二丁目 1 番 6 号
U　R　L：https://www.kenedix-st.com/

(5)

会　社　名：株式会社 SBI 証券
代　表　者：代表取締役社長 髙村 正人
設　　立：1944 年 3 月 30 日
所　在　地：東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
U　R　L：https://www.sbisec.co.jp/

(6)

会　社　名：Progmat, Inc.（株式会社 Progmat）
代　表　者：代表取締役 Founder&CEO 齊藤 達哉
設　　立：2023 年 10 月 2 日
所　在　地：東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビルディング（WeWork 内）
U　R　L：https://progmat.co.jp

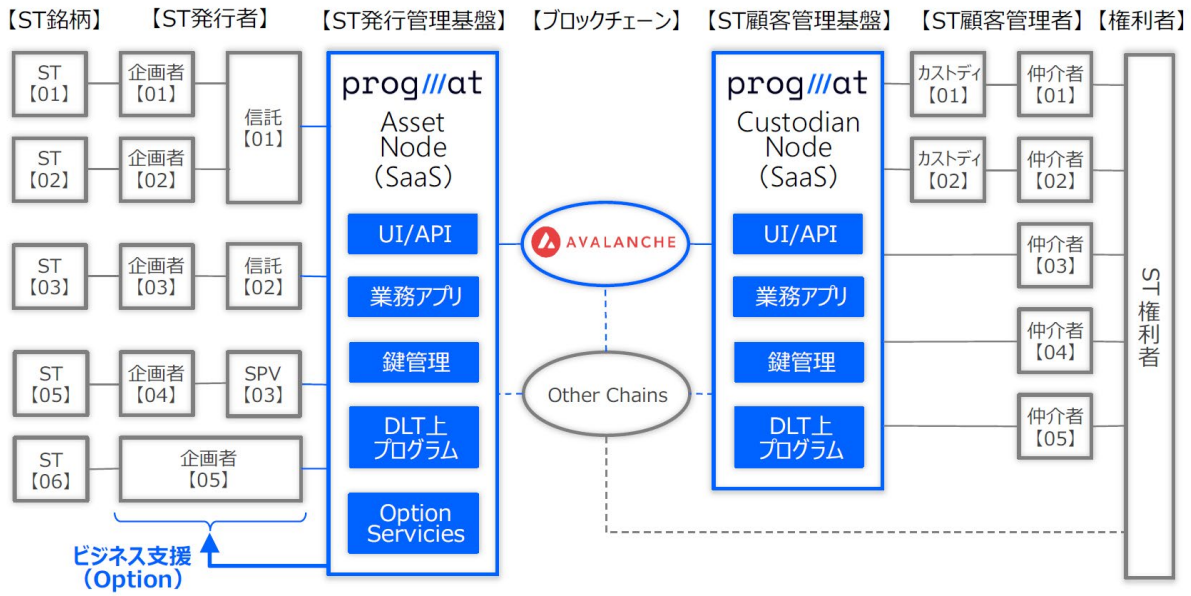
＜別紙＞

1．「Progmat」について

解 説 記 事：https://note.com/tatsu_s123/n/n03a291fa52ab

2．「Progmat（ST）」基盤及び関連サービス概要

ST 発行者（原簿管理人）向けの SaaS（Asset Node）、ST 顧客管理者（仲介者及びカストディアン）向けの SaaS（Custodian Node）、および各 Node 間のデータ連携を行う分散型台帳で構成されます。ソフトウェアのほか、ビジネス面のワンストップ支援もオプションサービスとして提供しています。

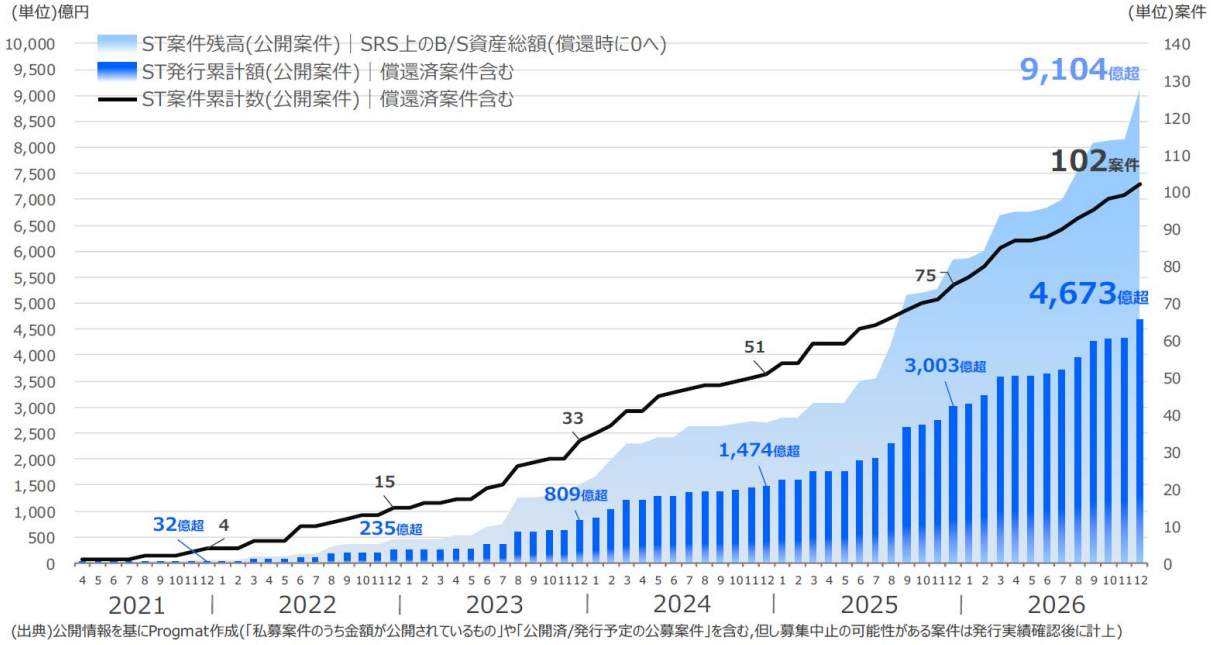


３．国内 ST 市場概要

ST 案件の残高総額は約 9,104 億円、ST 発行累計額は約 4,673 億円/102 案件、参入証券会社数は 16 社（+自己募集事業者）となっています。

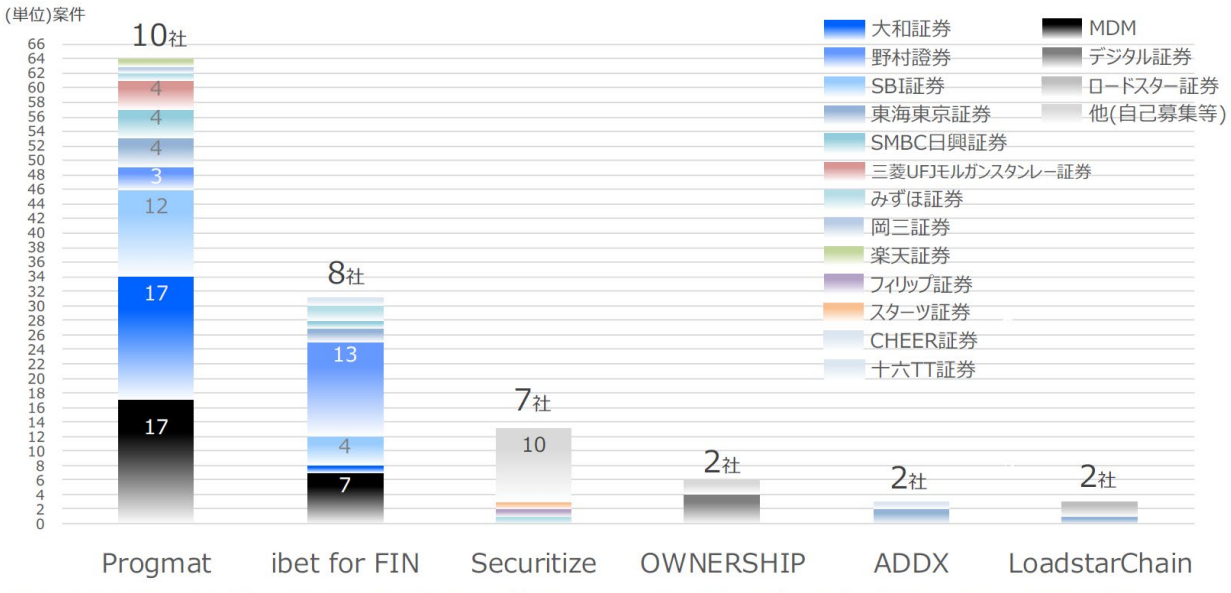
概 要 資 料：https://speakerdeck.com/progmat/progmat-monthly-st-market-report-2026-oct

■国内 ST 市場規模推移



(出典)公開情報を基にProgmat作成(「私募案件のうち金額が公開されているもの」や「公開済/発行予定の公募案件」を含む,但し募集中止の可能性がある案件は発行実績確認後に計上)

■ST プラットフォーム別利用仲介者内訳



(出典)公開情報を基にProgmat作成(「私募案件のうち金額が公開されているもの」や「公開済/発行予定の公募案件」を含む,但し募集中止の可能性がある案件は発行実績確認後に計上)